



▲まちの玄関口、土山駅南のロータリー

◆平成25年度予算が3月議会で審議され、一部を削除修正した「修正案」が賛成多数で可決されました。削除されたのは昨年に引き続き「土山駅南イルミネーション事業(冬季に限定、土山駅南の7本のケヤキをLEDで電飾し、駅前の賑わい、活性化を期待。電気代は1ヵ月約1万円程度)」です。この事業につきましては、一昨年ある住民の方から、500万円の寄付を受け、その方とその寄付金の使途を「イルミネーション事業」として活用することで合意し、昨年も当初予算に計上していましたが、議会の反対で実現しませんでした。その後、相手方の立会人同席のもと、私と町幹部職員がお会いし、再度ご意思を確認しました。寄付者は「ぜひイルミネーション事業を実現していただきたい」ということでしたので、再度上程したものです。しかしながら、福原・河野・大辻・奥田・神吉議員より、この予算を削除する修正案が提出されました。理由は「住民から意見を聞くべき」「恒久的な街灯を」というようなことでしたが、寄付者のご意思がはっきりと示されている以上、その方のご意思を尊重することが大切です。寄付者は3月議会初日に、お亡くなりになりました。生前中、寄付者との間で使途を確認していますので、天国に旅立たれた以上、勝手に変更し寄付金を他の用途にということは考えられません。2度にわたり、議会でご理解いただけなかったことを大変残念に思います。政治の世界においても、大切にすべき「人の情」というものはあるのではないのでしょうか。

◆新しい年度がスタートしました。24年度末には定年退職者も多く、多くの昇任、異動を伴う人事となりました。町職員一丸となって住民福祉の向上に努めてまいりますので、新体制での25年度町政もよろしくお願いいたします。

播磨町長 清水ひろ子

水のめぐみ“新井”足跡ウォーキングで、歴史にふれる

蓮池地域づくり推進協議会(野添コミセン内)
☎078(943)4825

3月23日、蓮池地域づくり推進協議会「オアシス蓮池」が郷土資料館とともに「水のめぐみ“新井”足跡ウォーキング」を催しました。

江戸時代、水不足で困っていた古宮村までの23ヵ村に加古川から新井(農業用水路)を掘削するという大事業を成し遂げた今里傳兵衛の偉業をたどる催しです。参加者は、野添コミセンから新井のほぼ中間地点にあたる加古川市野口町の峠池までバスで移動し、車内で配布された資料に沿って説明を受けた後、ここから播磨町古宮にある大池までの8kmを新井に沿って歩きました。

案内看板や遊歩道が設置されている道もあれば、民家の隙間をぬうように流れる箇所、水路の上が道路になっている暗渠部分も多々みられました。

事前の説明にあった埋桶(逆サイホン方式)の技術が使われている喜瀬川と新井の交差点では、江戸時代という昔にこのような技術が使われたという物証を目の当たりにして、改めて今里傳兵衛の偉業に感心する感想が聞かれました。



▲大中の田園風景の中を通る新井

楽屋裏
今年から播磨町役場に就職し、企画グループで広報の担当になりました。
今年、技術職も含めて8人の新人が入りました。どの人も気合が入っており日々の業務に取り組んでいます。
業務の中で新人の皆は、電話対応に苦戦しています。就活では、電話することがほとんどなかったからです。自分のグループ名を噛み込んでしまい、凹んでしまうこともありました。
一日でも早く業務を覚えたいと思います。(種)

播磨町 町制施行50周年記念事業 「Heco・彗星」誕生を祝い、彗星を観測

郷土資料館☎079(435)5000

3月16日、「新聞の父」として知られるジョセフ・ヒコ(浜田彦蔵)の名が小惑星に付けられたことを記念し、発見者の関勉さんをお招きして講演会が催され、彗星誕生を祝いました。



この日は、関さんから清水ひろ子町長に命名書が手渡され、町長から感謝状が送られました。また、ヒコの関係者にあたる沖縄県在住の歌手、

マツモトカズトさんによるオリジナル曲「明日の世界へ〜ジョセフ・ヒコに寄せて」の披露などもあり、満員の会場は大いに盛り上がりました。



▲彗星観測会では、月や木星も見られ、星の世界を満喫しました

セントパトリックス・デーのお祭り

播磨町国際交流協会☎079(435)0356

“セントパトリックス・デー”というお祭りをご存知ですか? アイルランドにキリスト教を伝えた聖パトリックの命日である3月17日に行われ、最近では世界中で盛大なパレードや行事が開催されています。播磨町国際交流協会では、はじめての試みとしてアイルランドご出身のエイミーさんを中心にセントパトリックス・デーを祝いました。シンボルカラーの緑を身につけた子どもたちがゲームをしたり、緑色のお菓子を食ったりして、楽しいひと時を過ごしました。



▲緑色のなにかを身につけて参加しました

播磨町ふるさと賞を中西千明さんに贈呈しました

企画グループ☎079(435)0356

10月に岐阜県で開催された「第12回全国障害者スポーツ大会ぎふ清流大会」に、兵庫県立東はりま特別支援学校高等部1年生の中西千明さんが出場し、少年女子50mで優勝を果たしました。

その栄誉をたたえ、清水ひろ子町長から、中西さんに播磨町ふるさと賞を贈呈しました。

中西さんは「次は100mの部門でも優勝したい」と次の目標を語ってくれました。



※この賞は、文化、スポーツその他の分野において、めざましい活躍をし、町民に希望と活力を与え、ふるさと「播磨町」の名を世に広く知らしめた個人または団体に対し、その栄誉をたたえ贈られるものです。中西さんで歴代20人目となります。

わんぱくはりまっこ



あおた みと みく こうしん
青田 美都ちゃん、美玖ちゃん、煌心くん
(二子)

いつまでも3人仲良くしてね(父、母より)

※平成25年3月撮影時の年齢です。